

分会情報

J R 東海 労 大 阪 仕 業 検 査 車 両 所 分 会

No. 7 8 2 0 1 3 . 1 0 . 3 1

発行責任者 柿本 克彦

編集責任者 教 宣 部

検修車、柱に激突！あわや、大惨事！！

10月28日、大阪仕業検査車両所の構内、庫5番線で検修車（通称ネコ車）がレールを支える柱（通称ロウソク）に激突するという事故が発生しました。状況はレールを支えている柱を補強するため枠組みを取り付けてあり、狭くなっているのに何も連絡がなかったため検修車が柱に激突したというものでした。

幸い検修車に乗っていた社員にはケガもなく大事には至りませんでした。一歩間違えれば大惨事になっていました。

検修車はレールの上に止まっている電車の下部を検査するため、レールを支える柱と柱との間を通過して、電車の下に潜り込み、検査担当者が乗って検査するものです。

この事故の原因はこんな危険な工事していたのに、全く連絡がないということです。外注の工事担当者も「検修車がここを通るとは知らなかった」と言っています。

会社はいつも現場社員に対しては「連絡の徹底」と指導しています。しかし、今回の事故はなぜ、起こったのでしょうか？

この事故を回避するためには「連絡をする」か「この番線に該当電車を入れない」など方法はいくらでもありました。

私達は事故がなぜ起きたのか？そして社員が安全に作業できるために「申し入れ」を行い、事故の原因と対策を追求していきます。

分会はこれまでレールを支える柱については老朽化が激しく改修を要求してきましたが、このような事故が起きて残念です。

何よりも安全な職場でなくては安全な検査もできず、安全安定輸送はできません。

私たちは職場や社員の安全に関わる問題についてしっかりと声を上げていきます。